

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0863
施設名	南千住駅前保育所
施設所在地	東京都荒川区南千住4-3-2
法人名	公益財団法人鉄道弘済会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマの設定理由>

絵本の貸し出し、絵本文庫などを活かし、「絵本」をテーマとして設定する。
親子で絵本に親しむ機会もあり、園でも文字や図鑑に興味関心をもっている姿が見られるので、さらなる環境設定を行い、文字を読んだり物語の理解を深めるため。

2. 活動スケジュール

- ・特定の時期に特定の活動を行うといったスケジュールではなく、コーナーを設定し通年実施。
- ・職員は日々の保育記録やドキュメンテーションを通して振り返りを行った。
- ・ドキュメンテーションを毎日掲示し、探究活動の様子を周知した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材・道具】

- ・環境設定として吸音素材でできた、静かで囲われた空間作りができる「OTOTOシリーズ」
- ・かるた、カードゲーム
- ・子どもたちからのリクエスト絵本、一人でも読み終える簡単な絵本や乳児クラスで親しんだ絵本
- ・絵具、色水、ペットボトル、色カード

【環境の設定】

- ・吸引素材でできた静かで囲われた空間づくり
- ・子どものつぶやきをひろい、興味あることができるよう道具の準備やコーナーづくり

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 静かに絵本を読みたいときには、絵本を持って購入したOTOTOシリーズの中へ入って集中して読む。
- ・ 興味をもった絵本は、絵本貸出日に持ち帰り家庭でも楽しんでもらった。
- ・ お米作りをしていたこともあり絵本「おむすびころりん」に興味をもっていたので保育参観で劇遊び「おむすびころりん」を披露した。
- ・ 絵本から【色】にも興味を持って、色水遊びにも発展し、保育参観で色水遊びを行った。
- ・ 図鑑から【宇宙】に興味をもち、紙粘土で太陽性の惑星を作った。5歳児のお別れ遠足でプラネタリウム見学へ行ったり、卒園製作で惑星の時計を作ったりした。
- ・ 保育園にない絵本や図鑑を探しに図書館へ行き、各自好きな絵本や図鑑を借りた。
- ・ 活動内容は動画や写真で記録し、職員、子ども、保護者と共有した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 静かに絵本を読みたいときには、絵本を持って購入したOTOTOシリーズの中へ入って集中して読む姿があった。落ち着いた環境の中で絵本に親しむことで、より絵本や文字に興味関心を持つようになった。
- ・ OTOTOシリーズの中で、自ら保育者に「せんせいよんで」と絵本を持ってきたり、保育者や友達と一緒に座ってじっくり絵本を見る姿が増えたり、「これみて」「おもしろいね」と同じ場面を共有して楽しんでいる姿が見られた。
- ・ 色水遊びでは、「ピンク」「きみどりになった」など、色の変化に興味を持ち、繰り返し混ぜたり、見比べたりしながら楽しむ様子が見られた。また友達同士「いっしょにまぜよう」とかかわる姿が見られ、発見や驚きを共有しながら遊びを楽しんでいた。

【登園後、OTOTOの中で絵本や図鑑をみる子どもたち】



【絵本から色水遊びに発展】



【絵本や図鑑に興味をもち、図書館へ】



【宇宙に興味をもち、惑星づくり】



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

落ち着て過ごせる空間を整えたことで、子どもたちは安心して座り絵本にじっくり向き合えることがわかった。これまで短時間で遊びが切り替わっていた子どもも、ゆったりとした雰囲気の中では集中して絵本をみる姿が見られ、環境構成の大切さを改めて感じた。

それぞれの活動を通して、子どもが自ら興味を深められる環境やゆったりと関われる保育者の存在が安心感や主体的な遊びにつながることに気づくことができた。